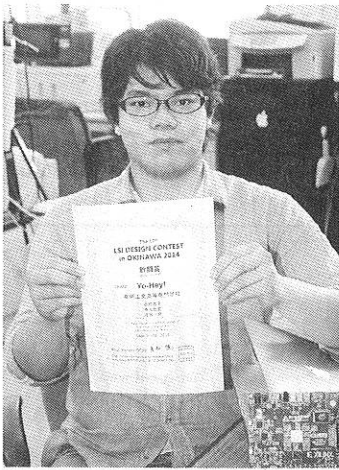


有明高専2年連続の快挙

LSIデザイン コンテストで敢闘賞

大牟田市東萩尾町、有明工業高等専門学校（福島健郎校長）電子情報工学科、石川洋平准教授の研究室の学生らが「第十七回LSI（高密度集積回路）デザインコンテストin沖縄2014」で敢闘賞を受賞。五月中旬に表彰状が届けられ、二年連続入賞の快挙を喜んでいる。



賞状を手に笑顔の近藤さん

コンテストは九州工業大学と琉球大学の教員で構成する実行委員会が主催。デジタルの集積回路設計者にとって、国内最難関とも言われているコンテストで、国内外から四十四チームが応募。インドネシアとベトナムの大学を含む八チームが三月十四日、琉球大学で行われた最終選考に進んだ。

同高専からは専攻科二年（当時）の熊野修平さんと井上優良（ゆうすけ）さん、電子情報工学科五年（同）の近藤一輝さんがチーム「Yoohey」を組み、参加。課題は前回に引き続き、「ソフトウェア・ハードウェア強調設計を用いたノイズ除去システム」で、音声の雑音を除くシステムの開発に取り組んだ。

最終選考日が卒業式・修了式と重なったため、参加できず、ビデオでのプレゼンテーションとなったが、組み込みのOSを実装するなど、他とは違うアプローチを行った点が認められた。また英語でプレゼンしたことも、「国際的な技術者に向けての努力がうかがえる」と評価。高専では唯一の受賞を果たした。

熊野さん、井上さんは前回は参加し、二年連続の敢闘賞。近藤さんは初の受賞となった。現在、熊野さんは九州工業大学大学院、井上さんは九州大学大学院、近藤さんは同高専専攻科で学ぶ。

「彼ら三人だから、できたこと。高専のレベルを超えています」と石川准教授。近藤さんは「今後も研究を進め、まずはこのシステムを完成させたい」と話している。

（河野 美緒）